



神出の樹

平成25年3月19日発行

県立神出学園

神戸市西区小東野30

078-965-1122

学園の行事を中心に、神出の様子をみなさんにお知らせする学園通信「神出の樹」平成24年度最終号をお届けします。

『行ってきました！「北海道」』

3月5日（火）から8日（金）まで、「山での体験」で北海道、トマムに行ってきました。前の週までは、大寒波の到来で死者もでるほどの大荒れの天気でしたが、冬の北海道にしては本当に天候に恵まれた4日間でした。

初日、神戸空港を飛び立ち、千歳に到着。バスでトマムに向かいました。ツインタワーの近代的なホテルで、部屋は清潔感があり、朝、夕のバイキングは最高でした。

2、3日目は、スキーとスノーボードに分かれ、実習を行いました。インストラクターの先生がとっても素晴らしくて、見学者もほとんどなく実習をやり遂げ、みんなが達成感を持てた2日間となりました。



また、3日目の夜には、アイスビレッジ（氷の村）に見学にいきました。この時期のトマムにしては考えられない無風で温かい夜になり、満天の星空のもと、現実とはかけ離れた幻想的な雰囲気を味わうことができました。

沢山の思い出がみんなの心に刻まれた冬の北海道。仲間とのふれあいと共にいつまでも心の財産として大切にしてくださいね！



スキー B 班 ポーズを決めて記念写真



お世話になったインストラクター
ヨッシー、かあちゃん、あやっち、マサ



羊ヶ丘展望台で「大志の誓い」



思っていたより少しショボかった？札幌時計台

< 神出学園スタッフの「座右の銘」 >

秦 良和さん（教務スタッフ）

「なんとかなる！」

物事がうまく進めば「次もうまくいく」と考え、物事がうまく進まない「次こそはうまくいく」と考える。人からは『超』がつくほどのプラス思考だとよく言われる。しかし、これが私の生き方である。

人生を一人で切り開いてきたわけではない。私にはたくさんの仲間がいる。恩師、上司、先輩、親友、後輩、家族などいろいろな人に支えられて生きてきたからこそ、今の自分がある。もちろん、支えてくれる人を裏切らないために精一杯の努力も怠らない。「失敗する」とか「駄目だ」とか考えることは自分にも支えてくれる人にも失礼だと思っているからこそ、明るい未来だけを思い描いている。

人生とは一人舞台ではない。私も堀内劇団（神出の樹 11月号）の一員である。私が主役のときには仲間に助けてもらい、仲間が主役のときには私が助ける。仲間がいることが自信となって、「なんとかなる」んだなあ。